

## 会議録要旨

(1) 会議の名称	令和5年度 第2回越前市行財政構造改革推進委員会
(2) 開催日時	令和5年8月7日（月）午後3時から午後4時25分まで
(3) 開催場所	越前市役所 3階 大会議室
(4) 出席委員氏名	稲継裕昭委員長、竹内直人委員、田中恵美委員、谷口真紀子委員、中田竜仁委員、井筒智子委員、高崎昭彦委員、前田聰一郎委員、山崎侑委員
(5) 欠席委員氏名	なし
(5) 出席所管課職員職氏名	越前市長 山田賢一、総合政策部長 奥山茂夫、総務部長 蒲久美子、総合政策部理事 横川裕康、デジタル政策課長 神門弘明、人事・法制課長 西野健一、総合政策部政策推進幹 三井貫人、総務部政策推進幹 辻川千智、人事・法制課副課長 師田健一郎、人事・法制課副課長 松井成晃、人事・法制課主幹 清水健太、人事・法制課主幹 橋谷京子
(6) 会議議題	行財政システム改革プラン（骨子案）について
(7) 傍聴者の数	2人
(8) 会議資料の名称	越前市行財政システム改革プラン骨子（案）について・・・資料1
(9) 会議の内容の要旨	<p>資料に基づき事務局から報告・提案を行い、委員から質問・意見・提言を頂いた。主な意見は、次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成という、リ・スキリングという観点が非常に重要とされている。職員が学んで成長できることが人材育成に繋がり、生き生きとした組織に繋がるので、職員にどういった形で投資していくのか検討してほしい。</li> <li>・越前市型の人的資本開示の指標を整理し、いくら投資するか、研修を何日するか、男女の管理職比率など、越前市にあった人的資本指標を作るとよい。</li> <li>・デジタル人材育成では、職員のITパスポートの資格取得をお勧めする。</li> <li>・職員の行動指針について、職員の意識改革も含め、職員が業務に対し目標を設定し、それを評価するなど、運用を一つ一つ緻密にやっていく仕組が大事である。</li> <li>・市民に対して成果指標の情報公開が必要である。</li> <li>・成果指標について、「人に自信を持ってお勧めできるか」というNPS（ネット・プロモーター・スコア）を指標として検討してはどうか。マイナスに振れる指標だが、少しずつ改善してプラスにしていくことで、サービスが向上していく。</li> <li>・成果指標の「仕事に働きがいを感じている職員の割合」について、ワークエンゲージメントの調査を入れると、民間や他自治体との比較が容易になるので、検討してほしい。</li> <li>・行革プランのデザインについて、従来の市役所の文章やデザインではなく、市民がパッと見て、分かるようなものを検討してほしい。</li> </ul>